



清風会
林下 豊彦 議員

「若くて元気なまちの創造について」

問 保育環境改善策の実施による今後の見通しは？

答 保育士の確保と保育現場への定着を図ることで、より一層保護者の皆さんが安心して預けられる保育所、幼稚園、こども園づくりに努めていく。

意見 市民の皆さんがこれからも安心していただける、そういう保育環境をぜひとも維持し続けてほしい。

「若者が住みたくなるまちの創造について」

問 市庁舎内で外国籍の外国語のお客様へはどのような対応なのか？

答 各部に1人は外国語が堪能な職員が在籍し、来客に対応している他、外国人からの電話を転送したりしている。



意見 今後、多言語を話せる人材の登用や育成についても考えていく必要がある。



市民創世会
丹尾 廣樹 議員

「北陸新幹線に対する期待について」

問 県内延伸は3年後。現在、特急存続ばかりに目が向けられており、市は経済効果や誘客対策をどう考えているのか。

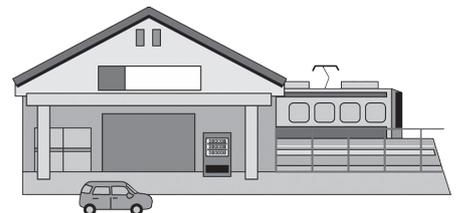
答 首都圏に加え関西圏などとの交流人口が大きく増加し、経済波及効果も大きい。敦賀開業後のアクセス向上を契機に積極的な産業振興、商業振興の取組で持続可能な成長を目指していきたい。

問 新幹線効果の上では、駅のない本市は不利。並行在来線対策をどう考えるか。

答 並行在来線経営計画の中で、快速列車の運行および既存駅のモデルチェンジなどが検討されている。

問 その他、交通利便性の向上策をどう考えているのか。

答市長 三セクによる在来線と福武線、コミバスを含めた二次交通網の整備の中で、福井駅直行バスも必要。また、高速バスの利便性の確保に、JR鯖江駅の東口の設置とともにインターチェンジのターミナル機能も必要。現在策定中の交通ビジョンの大きな課題と捉えている。



市民創世会
空 美英 議員

「動物愛護の観点から」

問 野良猫の苦情等、市に寄せられている件数とその内容は？

答 平成30年4月に鯖江市に隣接する福井市徳尾町に動物管理指導センターが丹南健康福祉センターから独立した形で設置されており、市はその施設に犬や猫などペットの飼育、飼養に関する相談業務や飼養マナーに関する啓発などを委託している。苦情件数は平成30年度で187件。その内訳は、引取り依頼が37件、糞尿等についてが12件、餌やりをする人、飼い主への指導依頼が6件、譲渡希望が57件、その他が75件。

問 福井市、あわら市、坂井市、永平寺町の4市町で「飼い主のない野良猫の不妊、去勢手術一部助成事業」を実施しているが、鯖江市としての対応は？

答 現段階で行政が行う有効な対策としては、譲渡会などにより新しい飼い主を探すことと、不妊去勢手術などの助成を行うことが考えられる。先進地の事例を参考に検討していきたい。

